

2 交通安全

区分	目標	内容
Ⅱ-1 道路の歩行と横断及び交通機関の利用	道路における様々な危険や交通法規について理解し、安全な歩行ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 道路における交通法規と安全な歩行の仕方を確認すること。 ② 通学路の交通事情や通学方法に応じた安全な通学の仕方を確認すること。 ③ 交差点を横断する際の危険について知り、安全な歩行の仕方を確認すること。 ④ 青信号で横断歩道を渡る際は、すぐに渡らず左右の安全を確認すること。 ⑤ 雨や雪の日の安全な歩行の仕方を確認すること。 ⑥ 明るい色の服装や反射材の効果を知ること。 ⑦ 安全な集団歩行の仕方を確認すること。 ⑧ 踏切事故の原因と非常ボタンの取扱いについて知ること。 ⑨ 幼児や高齢者、障害のある人に対して、どのような配慮が必要か考えること。 ⑩ 公共交通機関の利用時に想定される危険について考えること。
Ⅱ-2 自転車の安全な利用と点検・整備	自転車の安全な利用・点検や整備について理解を深め、交通法規を守って安全な乗車ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 自転車の安全な利用の仕方を確認すること。 ② 雨天時や夜間の安全な走行の仕方を確認すること。 ③ 自転車に関する基本的な交通法規を知り、必ず守ること。 「自転車安全利用五則」 ④ 自転車の点検と整備をすること。「ぶたはしゃべる」 ⑤ 加害事故の責任と自転車損害賠償保険等への加入の義務や「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」について知ること。 ⑥ 自転車乗用時のヘルメットの必要性について知ること。
Ⅱ-3 二輪車・自動車の特性と心得	二輪車・自動車の特性について理解し、道路の安全な歩行や走行ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 車両事故の特徴を知り、安全な歩行や走行の仕方を確認すること。 ② ヘルメットやシートベルトの効果を知ること。 ③ 自動車の種類による死角と内輪差や、晴れの日と雨や雪の日の二輪車・自動車の停止距離の違いなどを知ること。
Ⅱ-4 交通事故防止と安全な生活	地域の交通安全に関する諸機関や団体が行っている対策や活動を理解し、安全な交通社会を築くために、積極的に参加できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の交通安全活動を知り、参加すること。 ② 交通事故が起こったときの通報や対応の仕方を知ること。 ③ 応急手当の仕方を確認すること。 ④ 自分たちにできる交通安全活動を考え実行すること。

指導を工夫する視点

(1) 教室掲示

「ぶたはしゃべる」のように自転車の点検・整備のポイントの頭文字や、「自転車安全利用五則」などを教室や廊下に掲示することで安全意識を高めていくことができる。

Ⅱ-2-①②③ 「自転車安全利用五則」 (令和4年11月改定)

- 1 車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、
安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

※傘を差したり、スマートフォン・携帯電話を使用したりしながらの運転の禁止
※ヘッドホンやイヤホンを付けたままの運転の禁止

Ⅱ-2-④ 自転車の点検・整備のポイント 「ぶたはしゃべる」

- ブ**レーキ… レバーの引き代、
ゴムの摩耗
- タ**イヤ … 切傷、摩耗、空気圧の適正
- ハ**ンドル… 固定、高さ
- シャ** … 車体※
- ベル** … 変形、ゆるみ

※車体

反射器材 … 損傷
ペダル … 変形、折損、回転の適正
チェーン … 油切れ、たるみ
スタンド … 変形、折損
サドル … 固定、高さ
ライト … 点灯、照射

(2) 教材の活用

交通安全に関する教材としては、歩行者・自転車シミュレータ等がある。また、警視庁の「リーフレット 自転車の正しい乗り方」や「交通安全利用DVD」などの活用も考えられる。(教材一覧は、P.110)



自転車シミュレータ



歩行者シミュレータ

(3) 指導資料の活用

自転車通学時の自転車の安全な利用について示した指導者用デジタルブック「都立高等学校等における生徒の自転車通学時の自転車の安全な利用に向けた取組について」がある。

自転車の安全な利用に向けた取組のステップ、取組事例、取組を充実させるチェックリストなどを掲載している。



指導者用デジタルブック

「都立高等学校等における生徒の自転車通学時の自転車の安全な利用に向けた取組について」

(令和4年6月東京都教育委員会)